



Rotary International District2510 2021 May

GOVERNOR'S Monthly Letter

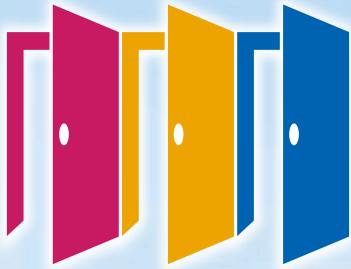
2020-2021年度 ガバナー月信

No.11
2021

5



ロータリーは機会の扉を開く



国際ロータリー第2510地区
2020-2021年度 ガバナー 福井 敬悟

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階
TEL／011-207-2510 FAX／011-207-2512
E-MAIL／rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ 「ロータリーは機会の扉を開く」



国際ロータリー第2510地区 2020-2021年度地区目標

2020年日本のロータリー100周年を祝おう!
～これからの100年に向けて～

- ① IT活用の推進と公共イメージの向上
- ② 会員基盤の強化
- ③ 1クラブ1プロジェクトの推進
- ④ ロータリーファミリーへの支援と学友連携の強化
- ⑤ クラブ戦略計画の作成に期待

CONTENTS

●ガバナーメッセージ	1	●ハイライトよねやま	11
●2021-2022年度RI会長代理のご紹介	2	●米山奨学生の紹介	13
●「第5回 学友交流会・帰国報告会」を終えて	3	●米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付	14
●2020学年度米山記念奨学生修了式	4	●ロータリーコーディネーターNEWS	15
●2021学年度米山記念奨学生カウンセラーオリエンテーション	5	●第1地域RRFC便り	17
●活動報告・地区RLI委員会	6	●2020-2021年度地区大会のご案内	21
●2021-2022年度会長エレクト研修セミナー報告	7	●地区カレンダー(5月・6月)	24
●ガバナーノミニー決定宣言	8	●会員数・例会数	25
●ガバナー公式訪問報告	9	●文庫通信	26
●新会員のご紹介／訃報	10	●表紙の解説／ICT委員会からお知らせ	表3



国際ロータリー 第2510地区
2020-2021年度ガバナー

福井 敬悟
(札幌手稲RC)

北海道の5月は、桜前線が到達したと思ったら、アッという間に満開そして通り過ぎ、短い間に一斉に花が咲き、凝縮した春を楽しめるそんな月です。

しかし近年は、5月というのに地球温暖化によるのか最高気温が北海道各地で東京よりも気温が高いという日があり、またリラ冷えと言われる寒い日もあるので健康には十分注意が必要です。また、昨年同様に新型コロナウイルス感染防止の為、例年野外で行われる各イベントも開催が見送られました。

そんな中ですが私は、4月21日69番目の北海道のロータリークラブ生みの親・札幌ロータリークラブ公式訪問を無事に終えることが出来ました。後は、5月16日に開催される地区大会が無事に終えられる事を祈るばかりです。ご承知のとおり今年度地区大会は、感染拡大防止の観点からリアルとオンラインによるハイブリッド型で行われます。会場にお越しになられない方は、地区ホームページから簡単にアクセスできます。すでにサイトはオープンしており、大会前からお楽しみいただけますので、是非地区ホームページからご覧ください。

さて私は、RI会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」、地区方針として「守・破・離の心で初心忘れず、変化の扉を開きましょう」「ピンチをチャンスに」を掲げて、公式訪問をさせていただきました。

クナーフRI会長は、ロータリー発展のために変革を受け入れるよう、国際協議会にて述べられ、強く促しました。それは、会員数を増やすために数字にこだわるのではなく、持続可能かつ有機的なかたちで成長できる方法を考えよう求め、現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募ることにクラブが注力すべきであるというお考えでした。その言葉は、私がエレクト時代から唱えていた「守・破・離」と相通じるものがありました。そして、特に「守」の部分である会員基盤、クラブの基盤を強くして頂く事を公式訪問において各クラブの皆様に伝えてまいりました。逆境と思える現状の中だからこそ、この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなっていたら幸いでした。

ロータリーとは、奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受ける相手側の人生をより豊にするための道を開くことだと思っております。そして奉仕の実践は、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであり、ロータリーはリーダーシップの機会、奉仕のアイディアを実行に移すための実験を繰り返し、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれる素晴らしい組織です。当地区の地域性や私たちの歴史を考え、日本人である私たちが生きている環境や、歴史、この地で連綿と続く自助・公助・共助という奉仕の行い方に思いをはせれば、別け隔てのない心での奉仕、つまりバリアフリー・マインド「心のバリアフリー」というアプローチは自然に抵抗なく行えることでしょう。ところで皆さん、ロータリーは本当に変化しています。女性の参加、若者への期待、新クラブの新設や既存クラブの強化、会員基盤の維持や広報の重要性、といった従来からの課題はもちろん、デジタル化の進展、環境意識の高まり、多様性のあり方、そして何より次の時代のロータリーをどう構築していくのか、などなど実に様々なレベルで真剣な模索が続いている。こうした個々の課題には、手頃な解決策や方法論が簡単にあるわけではありません。ただ、こうした真剣な模索を、皆で続けることが尊いことではないのでしょうか。

さて、今月は青少年奉仕月間です。若者たちは将来への希望です。コロナ禍で混沌した世の中です。人種差別、環境問題、女性やLGBTQ+の権利拡大など世界の若者、若い世代が未来に向ける前向きな姿勢に我々はインスピレーションを受け、支援していくなければなりません。第2510地区においては、青少年委員会にローター・アクト、インター・アクト、青少年交換、RYLAの各委員会、米山記念奨学・学友委員会、VTT委員会、学友委員会を中心にこれから世界を担う若者たちと共に活動しています。そして「青少年プログラムの為の危機管理」の問題を忘れてはいけません。当地区は青少年にかかるプログラムがより多くの成果を生むために「危機管理委員会」が設置されており、その重責を細川好弘PGMにお願いしています。

私たちは、これからも共に活動し、互いにリスペクトし合える関係が望ましいと考えます。

未来を担う若い世代を支援し、リーダーを育てることは我々ロータリアンの重要な使命です。

2021–2022年度RI会長代理のご紹介



Pr o f i l e プロフィール

第2750地区パストガバナー

水野 功 (東京飛火野RC)

生年月日／1953年2月6日生

所 属／東京飛火野ロータリークラブ

職業分類／運送業

■略歴

- 1975年 慶應義塾大学卒業
1976年 慶應義塾大学ビジネススクール卒業
株式会社イトーヨーカ堂入社
1982年 日野自動車販売株式会社入社
1986年 千代田運輸株式会社入社
1986年5月 同社取締役に就任
1986年8月 同社代表取締役に就任、現在に至る
1989年3月 一般財団法人 交詢社入会

■ロータリー歴歴

- 1989年4月 東京飛火野ロータリークラブ入会(チャーターメンバー)
1999-2000年度 東京飛火野ロータリークラブ 会長
2012-2013年度 RI2750地区多摩南グループ ガバナー補佐
2014-2015年度 RI2750地区 ガバナーエレクト
2015-2016年度 RI2750地区 ガバナー
2016年～ 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 副理事長
2017年9月～ 公益財団法人米山梅吉記念館 理事
2016-2021年度 日本のロータリー100周年実行委員会事務局長
2018年～ ロータリー・センター・ホスト・エリア・コーディネーター
2019-2022年度 ロータリーコーディネーター第2地域
2020-2021年度 RI研修リーダー

メジャードナー Level III
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
ポール・ハリス・ソサエティ
第8回米山功労者マルチプル

「第5回 学友交流会・帰国報告会」を終えて

今年度の「第5回学友交流会・帰国報告会」は、2021年1月30日(土)に、ロイトン札幌を会場に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、北海道は令和3年2月15日まで「集中対策期間」を1か月間延長する決定を発表しました。これにより開催を延期し、令和3年3月27日(土)14:00からロイトン札幌を会場に報告会が開催されました。振り返れば、昨年の「第4回学友交流会・帰国報告会」開催後まもなく新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い社会活動が停滞し、私たちの生活環境が一変してしまいました。欧米においても日々数万人という新型コロナウイルス感染者が発生している関係で、今年度は留学生、奨学生の皆様が日本と海外を以前のように渡航できずにいるのが現状です。

このような環境の中ではございますが、皆様方のお力添えをいただき、何とか「第5回学友交流会・帰国報告会」を関係者のみで開催することが出来ました。

さて、本日の報告会で発表される皆様は、ロータリープログラムに参加が決定した時点から学友会のメンバーとなります。学友会はロータリーとのつながりを再構築することを目的に活動しており、ロータリーフェローズと呼ばれる新しい形の学友会が全国的に広がりをみせています。地区学友委員会は、インタークト、ロータークト、青少年交換、ライラリアン、ローテックス、米山奨学生、財団奨学生を対象にこれらの学友とロータリーをつなげる組織としての学友会活動を支援しており、支援活動の一つとして「学友交流会・帰国報告会」を毎年開催しております。今年も昨年に引き続き第1部で「学友とロータリー」をテーマに4名の方が学友体験報告を行いました。ロータークト学友からは、高橋耕さん地区ロータークト委員会副委員長(札幌幌南RC)が「ロータークトを体験して」という演題でビデオ報告され、当時ロータークトとして活動していた時、ロータリアンは大人の集団に感じられたこと、現在ロータリアンとしてロータークトにかかわっている中で魅力的な大人として感じてもらえるよう全力でロータークトをサポートしていきたいと体験報告していただきました。また、インタークト学友から新井優也さん(岩見沢緑陵高校/岩見沢RC)が「インタークト・ロータリークラブとの突然の出会い」という演題で発表され、ロータリー活動を通じて学んだ事を現在の職業に生かしているとの体験報告をしていただきました。RYLA学友からは、佐藤直輝さん(第2510地区岩見沢ネクスト

国際ロータリー 第2510地区学友委員会

委員長 前田 浩人



ロータリー衛星クラブ/岩見沢RC)が「RYLAセミナーに参加して」という演題で発表され、今後は衛星クラブ・RYLA委員会の一員として社会貢献に関心のある若い世代に対してリーダーシップのある人材育成に参加したいとの体験報告をしていただきました。米山学友からはヴィアチェスラヴォヴァ・アリサさん(ロシア出身・北海道大学/札幌幌南RC)が「私がロータリークラブから学んだ事」という演題で発表され、ロータリアンから友情、尊敬そして社会に貢献することの重要性を学んだと報告していただきました。引き続き第2部では「帰国報告会」として、海外でのプログラム体験を3名の方に報告していただきました。

青少年交換学友・ローテックスからは、笹野瑚央さん(札幌旭ヶ丘高校/札幌東RC)が「コロナ禍が繋げた「つながり」という演題で発表され、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で、ニューヨーク州への留学を通して人とのつながりの重要性を強く感じた経験は、今後の人生においての財産であると報告していただきました。財団学友からは、清水一紀さん(2019-20年度グローバル奨学生・ロンドン大学衛生熱帯医学大学院/札幌RC)が「疾病予防・治療」という視点から留学最終報告をビデオレターという形でご報告いただきました。

清水さんは、2021年2月からナイロビに渡り「世界保健機関(WHO)ケニア事務所健康危機管理部門テクニカル・オフィサー」として活動されています。また、昨年帰国された覚知頌春さん(ドイツ・キール大学/札幌北RC)は「低地ドイツ語について」という演題で発表される予定でしたが、報告会の延期によりスケジュールの日程調整が難しく、今回参加することができないことからビデオレターという形でご報告いただきました。覚知さんは、約2年間のドイツ留学をされ、研究テーマでもある低地ドイツ語を話す多くの方々と知り合うことが出来たことは、今後の人生に大きな影響を与えた出来事であったと報告していただきました。

以上、今年度の報告会は発表者が5名、ビデオレター2名の計7名の方の発表が行われ大変有意義な報告会となりました。また、毎年「学友交流会・帰国報告会」終了後、会場を移して懇親会が開催され、新財団学友メンバーと親交を深めておりましたが、残念ながら今年度は新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う自粛により懇親会は行われませんでした。しかしながら、福井ガバナー、学友委員会委員の皆様、学友委員会関係者の皆様、ガバナー事務所寺島様に多大なご協力を頂き、無事今年度の「学友交流会・帰国報告会」を終了する事が出来ましたことに深く感謝申し上げます。



2020学年度 米山記念奨学生修了式

国際ロータリー第2510地区
米山記念奨学・学友委員会

委員長 佐藤 竜也
(北斗RC)



昨年2月下旬に中国武漢市で発生した新型コロナウィルス感染症の蔓延により、北海道は全国に先駆け「緊急事態宣言」が鈴木知事より発出に伴い、3月に開催予定をしておりました米山奨学会事業の修了式並びに歓送会、さらには4月開催予定の新規奨学生オリエンテーション並びに歓迎会を昨年度は共に中止せざるを得ない状況となり大変残念な思いをいたしました。



2020年1月5日に面接選考会を実施し、2020学年度米山記念奨学生新規16名と継続5名の計21名が4月よりスタートいたしました。

しかし新型コロナウィルス感染症の影響による例会の中止(休会)が長期にわたり、昨年12月頃に世話クラブの例会が再開されるようになり、奨学生がようやく出席することが出来たのも束の間、1月には再び外出制限が発出され、支給期間が1年のほとんど奨学生は世話クラブのロータリアンとの親睦を図れなかつたこと、さらには例年開催していた研修旅行も中止となり、かろうじて10月に親睦会で顔を合わせた程度で修了を迎ってしまったことが非常に残念でなりません。

今期につきましても開催が危ぶまれる状況でしたが、修了式を3月27日(土)12時30分より京王プラザホテル札幌にて開催することができました。

歓送会の飲食を伴う懇親会こそ出来ませんでしたが、修了奨学生6名とそのカウンセラーには福井ガバナーより修了証書が手渡され、カウンセラーには感謝状を手渡していただきました。

嵯峨義輝(財)米山記念奨学会理事(PG)並びに安孫子建雄評議員(PG)のお二人からは、はなむけのお言葉をいただき無事終了式を終えることが出来ました。





2021学年度 米山記念奨学生 カウンセラーオリエンテーション

国際ロータリー第2510地区
米山記念奨学生・学友委員会 委員長 佐藤 竜也(北斗RC)

去る4月10日(土)12時20分より京王プラザホテル札幌にて第6回地区米山委員会を開催し、奨学生オリエンテーション並びカウンセラー研修のスケジュール詳細打合せ及び今後の米山奨学委員会の行事予定などの確認を行いました。

第一部は14時よりカウンセラー研修部門を青木副委員長の担当で、福井ガバナーのご挨拶で始まり、第二部は15時15分より大日向ガバナーエレクトより、はなむけのご挨拶をいただき、新規奨学生19名と継続奨学生7名、そしてカウンセラー26名の合同参加で奨学生オリエンテーション部門を私が担当いたしました。第三部では確約書並びに個人情報公開同意書の説明と承諾書にサインをいただいた後、晴れて米山記念奨学生となった留学生とカウンセラーの皆様に、一人一人自己紹介をいただき、この後恒例の歓迎会は開催を控えましたが、福井ガバナーをはじめ、大日向ガバナーエレクト、石丸ガバナーノミニー、安孫子評議員(PG)とともに、奨学生とカウンセラー、そして地区米山委員会のメンバーにて記念撮影をいたしまして定刻17時に閉会いたしました。



通常ロータリ一年度は7月から6月の一年間となりますが、米山記念奨学会の一年は、4月から3月までが事業年度となっております。

2カ年度に跨ぐるため、クラブ会長・幹事、米山委員長も同じくして2カ年に跨ぐるギャップが悩みの種と言うところもあります。

日頃より米山記念奨学会の事業にご理解をいただきまして、誠にありがとうございます
今後とも、ご支援、ご厚情を賜りますことを心よりお願ひを申し上げて報告を終わります。



活動報告 地区RLI委員会

RLIセミナー パートI・パートIIを終えて

昨年度のセミナーは、8月に1度行い、それ以降はコロナ禍により、延期・延期・中止と大変残念な状況でした。その反省から、6月に委員会を開催し、今年度は、zoomによるセミナー開催を行うことを決定し、7月からDL研修を行ってまいりました。最初はzoomが初めてで、操作に手間取ったりしながら、何とか行っている状態でした。DL研修・兼・zoom研修の様相でした。メールの送受信も出来ないところから始まったDLもいましたが、やる気と努力で、頑張って下さいました。2月20・21日のパートI開催時は、不慣れなため参加された皆様に、ご迷惑をおかけしたことと存じます。この場をお借りして、お詫び申し上げます。リアル開催の際の参加者は、50名強でしたが、パートIは、実際に参加された方が70名と予想を上回る人数でした。やはり前泊等の必要もなく、参加されやすかったとのRLIの認知度が少しアップしたと嬉しく思います。前もって通信確認を行いましたが、参加者の皆様もzoomが初めての方も多く、テクニカルコーディネーターを担っていただいている3名の委員は、大変な状況でした。

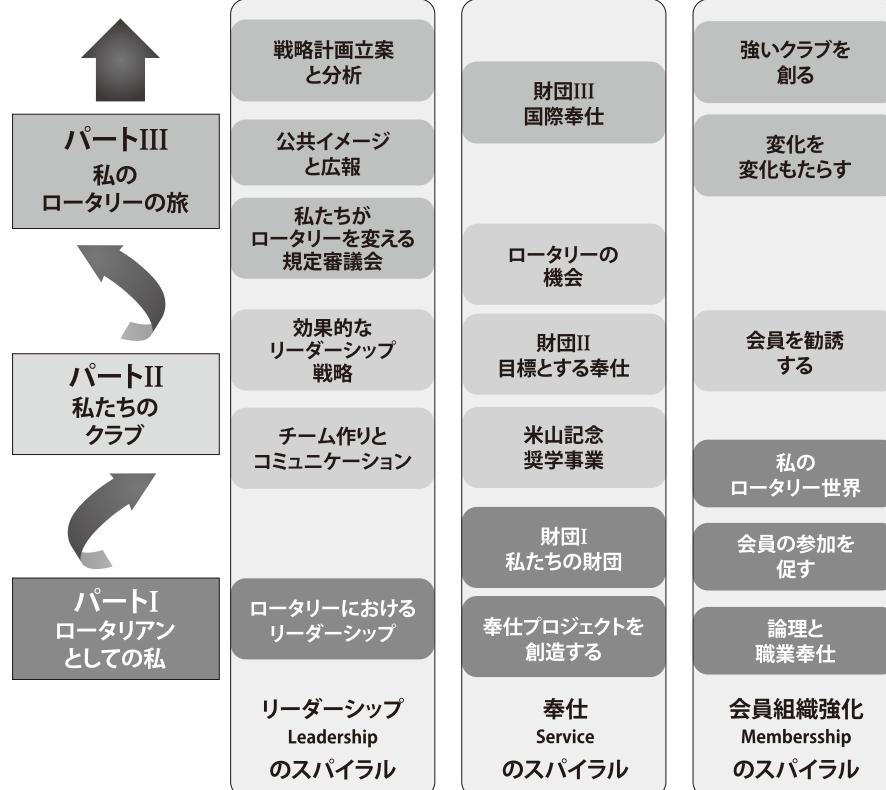
4月4日開催のパートIIは、パートI経験者(以前の参加者含む)で行いました。参加者の皆様もzoomに慣れ、大変スムーズに行えたと思います。1時限50分、1セッション10名迄という基本を守る事ができ、参加者の皆様からのご発言もある程度頂戴できました。RLIのプログラムは、パートIからパートIIIへと深まっていくスパイラル式のカリキュラムになっており、参加者の皆様にはパートIから順番に参加していただく形をとさせていただきました。

人と人との会話は、Face to Face が基本ですし、RLIは、DLによるファシリテーション手法による参加者の経験・意見を引き出すことが大切です。zoomでは表情はリアル以上に感じることが出来ることが分かりましたが、全体の把握は難しいです。場所を選ばず参加できる、費用が最小限などのメリット。横のつながりを持ちにくい、全体の状況把握が難しいなどのデメリット。それぞれですが、コロナ禍が続く現状、今しばらくはzoomでのセミナー開催が有効と考えております。DLスキルをアップすべく研修を重ね、参加の皆様にとって参加価値のあるセミナーを目指したいと存じます。

今後ともクラブ活性化のため、RLIセミナー参加をお願い致します。

RLIカリキュラムのスパイラル(らせん的展開)

ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立



国際ロータリー
第2510地区RLI委員会
委員長
渡邊 葉子
(札幌西北RC)

2021–2022年度 会長エレクト研修セミナー報告

国際ロータリー第2510地区
次期地区代表幹事

能戸 彰
(函館五稜郭RC)

3月20日(土)に開催された「会長エレクト研修セミナー」は、通常であれば土曜、日曜と2日間にわたって研修を行うところですが、このコロナ禍の中で昨年はリモートでの開催でした。今年は2年ぶりの対面での研修となりましたが、まだまだ感染対策が必要とのことで、できる限り時間を短縮し、会場ではソーシャルディスタンスに配慮しながらの開催となりました。

13時に受付を開始し、ガバナーエレクトによる開会の点鐘、福井敬悟ガバナーより歓迎のご挨拶があり、その後大日向ガバナーエレクトより基調講演「国際協議会報告・次年度RIテーマの紹介および地区目標」が行われました。

地区の二大方針と七大目標は、

「世界に奉仕を 地域には感謝を」 「不忘感謝先人偉業」



1. RI会長テーマの理解と促進
2. リーダー育成の観点からRLIへの参加を促す
3. ローリー情報の提供、広報、クラブ目標の設定などあらゆる手続きにおいてインターネットの活用を推進する
4. ロータリー財団、ポリオ根絶への理解を求め会員の積極的な理解を求める
5. ロータリー米山記念奨学会の活動への理解と協力を求める
6. 会員増強、Each One, Bring Oneの推進と「ロータリー奉仕デー」の実施
7. クラブにおける戦略計画の立案(未来ビジョンの策定)と目標の設定を推奨する



その後、羽部大仁次期地区研修リーダー(PG)よりご講演があり、年間の行事予定、ガバナー公式訪問予定、地区予算案等の説明があり、前半が終了しました。

つづいて、「財団セミナー」では熊澤隆樹次期地区ロータリー財団委員長(PG)より「ロータリー財団の指針について」、出村知佳子同副委員長より「ロータリー財団の活動について」のご講演があり、映像を通してわかりやすく説明していただきました。

米山セミナーでは嵯峨義輝米山奨学会理事(PG)より「ロータリー米山記念奨学会の指針について」、佐藤竜也次期地区米山記念奨学会委員長より「ロータリー米山記念奨学会の活動について」のご講演がありました。

それから、所感をガバナーエレクトが話される予定でしたが、急遽大日向ガバナーエレクトからの要請で、石丸修太郎ガバナーノミニーが所感を述べられました。その場面から見ても、和気あいあいとしたものが感じられ、あつという間のセミナーでした。

ガバナーノミニー決定宣言

2023-2024年度国際ロータリー第2510地区ガバナーノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より松浦光紀君(小樽南RC)が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第12条[ガバナーの指名と選挙]に基づき、松浦光紀君を2023-2024年度国際ロータリー第2510地区ガバナーノミニーとすることを決定し、ここに宣言いたします。

【2023-2024年度ガバナーノミニー】

会員名 **松浦 光紀**(小樽南ロータリークラブ)

生年月日 1945年12月10日 (75歳)

職業分類 その他サービス業 ファイナンシャル プランナー
松浦FPオフィス代表

学歴 1969年3月 北海道大学水産学部遠洋漁業学科卒業
1970年1月 日本紅茶(株)入社
1976年6月 日本紅茶(株)退社
1976年7月 ヤマハ発動機(株)入社
2001年3月 ヤマハ発動機(株)退社
2003年1月 日本FP協会入会
2004年4月 ヤマハモーターアシスト入社
2006年3月 ヤマハモーターアシスト退社
2006年4月 松浦FPオフィス開設



【ロータリー歴】

小樽南ロータリークラブ	第2510地区
1989年 9月 1日 三浦ロータリークラブ入会	2014～2017年度 ポリオプラス委員会委員
1994年 8月31日 三浦ロータリークラブ退会	2017～2018年度 ポリオプラス委員会副委員長
2006年12月15日 小樽南ロータリークラブ入会	2018～2019年度 クラブ奉仕委員会副委員長・ ポリオプラス委員会委員
2009～2010年度 クラブ幹事	2019～2021年度 クラブ奉仕委員会副委員長
2011～2012年度 広報・情報・まごころ箱委員長	2020～2021年度 ロータリー情報委員会副委員長
2012～2013年度 職業奉仕委員長(理事)	2021～2022年度 第6グループガバナー補佐
2013～2014年度 ロータリー財団委員長(理事)	
2015～2016年度 国際奉仕委員長(理事)	その他
2017～2018年度 クラブ会長	マルチプル・ポールハリス・フェロー(3回目)
2019～2020年度 会員組織委員長(理事)	米山功労者(2回目)
2020～2021年度 ロータリー財団委員長	米山獎学生カウンセラー(1回目)

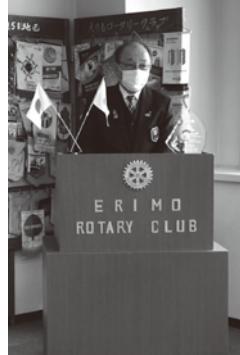
ガバナー公式訪問報告

紙面の都合上ならびに原稿の到着日により、掲載順が前後する場合がございますのでご了承ください。

えりもロータリークラブ

3月17日(木)

3月17日、(木)福井敬悟ガバナー公式訪問の為、えりもロータリークラブの例会にてお迎えいたしました。和田地区幹事、高張地区幹事と同行されました。新型コロナウイルス感染症防止の為例会を中止(延期)していた事もあり、この度の公式訪問となりました。12時からの例会の中で、福井ガバナーは気さくに話されその後、プロジェクターを使った貴重なお話を伺いました。



また、他のクラブの動向と今後のクラブと例会の方法などのアドバイスを頂きました。中でも新型コロナウイルス感染症防止の中でも、今後は元に戻すのではなく、発展させて前進させるのだと言うお話には感銘を受けました。更にスローガンに掲げている[守・破・離]についても、初心を忘れずに、変化を恐れずに、希望の扉を開くのだとお話頂きました。話題の中、この度えりもの緑化事業をテーマにした、映画の撮影がある事を話すと、それは良いですねと話されました。

時間短縮の中でも大変に有意義なガバナー公式訪問となりました。例会の終了後会員との記念撮影をいたしました。最後に日高の果て、遠路はるばるの公式訪問、福井ガバナーへ感謝申し上げます。

千歳セントラルロータリークラブ

3月23日(火)

3月23日(火)福井敬悟ガバナー、橋功記ガバナー補佐、和田敬友地区幹事、高張秀人地区幹事の4名をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。当初、10月に開催予定でしたがコロナの影響で順延し3月によく開催することができました。

通年より若干短縮し10時30分より7名で当クラブ30年の歩みをまとめた動画を鑑賞していただき、ガバナーから「たいへん充実した活動をセントラルさんはなさっていますね」とお褒めの言葉をいただくことができました。11時30分より各理事による今年度及び近年の活動報告を行わせていただきました。ガバナーのお人柄もあり終始和やかな会になりました。

12時30分より例会に入り福井ガバナーよりRIテーマと地区目標・重点課題についてご講演をいただき会員一同、勉強をさせていただきました。たいへんわかりやすい説明が印象的な例会となりました。記念写真を撮影した後、東日本大震災から交流のある宮城県岩沼RCに震災テーマソング「花は咲く」を全員でマスク着用で合唱し、その動画を「私たちは忘れていません」というメッセージと一緒に送ることができました。ご多忙の中、たいへん有難うございました。



新会員のご紹介

(敬称略)



千歳RC新会員

久米 剛令和3年3月11日入会
職業分類:ホテル

千歳RC新会員

諸橋 真令和3年3月25日入会
職業分類:地方銀行

深川RC新会員

武田 修門令和3年4月1日入会
職業分類:塗装業

深川RC新会員

菅原 淳一令和3年4月1日入会
職業分類:自動車販売室蘭北RC新会員
内池 孝年令和3年4月6日入会
職業分類:各種食料品小売業室蘭北RC新会員
浜飯 龍人令和3年4月6日入会
職業分類:住宅工事業砂川RC新会員
田中 敏文令和3年4月7日入会
職業分類:総合建設業苫小牧RC新会員
志田 昌紀令和3年4月9日入会
職業分類:ビルメンテナンス岩見沢RC新会員
高橋 哲也令和3年4月15日入会
職業分類:信用金庫

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します

江別西 RC

白旗 隆夫 会員 2021年1月18日ご逝去（享年 70歳）

【経歴】

1952年7月13日生

職業分類:外線工事業

(有)白旗電機商会 代表取締役

【ロータリー歴】

1992年4月	江別西ロータリークラブ入会
2009~10年度	江別西RC 副会長
2010~11年度	江別西RC 会長エレクト
2011~12年度	江別西RC 会長
2012~13年度	ガバナー補佐幹事
2020~21年度	IM委員長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

2021.4.13

VOL.253

1 オープンマインドで多様性への理解を

近年、LGBTQ+（性的マイノリティ）であることを明らかにする留学生が増えています。LGBTQ+の学生は、異国である日本の文化や言語を習得する以外に、その国で新たにできた友人や世話になる人々へ、自分のアイデンティティをどのように説明するか、また、カミングアウトをしてどのような対応をされるのかなどの葛藤を常に抱えていることも稀ではありません。

国際ロータリー理事会は、ロータリーが「多様性を

重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景をもつ人の貢献を称える」ことを再確認しています。

LGBTQ+の学生を含め、どのような留学生であっても、米山奨学生としての誇りを持って学業に専念し、地区の行事や世話クラブの活動にも参加できるよう、あらためて皆さんのご理解とご配慮をよろしくお願ひいたします。

2 各地区で奨学生オリエンテーションを開催

新しい奨学生を迎える季節になりました。今年の奨学生オリエンテーションも新型コロナウイルスの状況に配慮しながらの開催となっています。人と人との交流が希薄になりがちな時代ですが、米山奨学生がロータリーの活動に親しみ、末永く交流できる基盤づくりをよろしくお願ひいたします。

第2510地区【北海道】大学から在学生へ出された行動指針の基準に沿って、風力計で換気を確認、CO2濃度も常にチェックするなどホテルの



協力で対策を徹底。300人規模の会場に約70人が参加しました。

第2770地区【埼玉県】会場に集合して開催。今年は確約書の説明と、奨学生・カウンセラーの顔合わせ、自己紹介をメインとし、米山記念奨学

事業の詳しい説明や、カウンセラーオリエンテーションは後日Zoomで実施します。



(写真は学友のジョン・ミンさん撮影)

第2670地区【徳島・香川・愛媛・高知県】

原則として分区ごとに実施。愛媛分区ではオリエンテーションとカウンセラー研修を個別に実施。奨学生、カウンセラー、幹事、事務局職員にも出席いただき、奨学生の心得を説明し奨学金とバッジを贈呈。クラブ側の事務処理についても十分説明できたことが個別訪問のメリットでした。他の3分区は集合形式で開催します。



■ タイ米山学友会 総会のご案内

2021年5月15日(土)タイ時間17:00～(日本時間19:00)、受付として16:30～(日本時間18:30)よりZoom 開始、5月8日までにthaiyoneyama@gmail.comへ事前申し込みのこと

3 寄付金速報　—コロナ禍のご支援に感謝—

3月までの寄付金は前年同期と比べて1.9%減(普通寄付金:1.4%減、特別寄付金:2.3%減)、先月と変わらず約2,200万円の減少となりました。新型コロナウイルスの再拡大によりリアルでの例会開催が困難な中、皆様からの貴重なご

寄付に厚く御礼申し上げます。早くワクチン接種が進み、安心して通常の生活に戻れることを祈るばかりです。今年度も残り2ヶ月半ですが、引き続き米山記念奨学事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

4 マレーシア米山学友会がZoom総会を開催

3月20日(土)、マレーシア学友会総会がZoomで開催されました。当日はマレーシア国内だけでなく、海外在住の同国出身学友、その他ロータリアンや他学友会代表者ら総勢60人ほどが参加。

黄麗容会長(2001-04／横浜泉RC)は冒頭で、「学友会に参加するのは、意義と恩を感じているから。私たちがもらった米山奨学金は、天から降ってきたものではなく、日本のロータリアンが出し合って集められたもの。世界唯一の顔の見える奨学金制度。教育で世界は変わるという、ロータリアンの信念です」と述べ、米山学友が集まる意義を力強く語りました。続いて活動報告や決算報告、そして、マレーシア当局の手続きに則って役員選挙が



行われた結果、新幹事としてキュー イー ホンさん(2016-17／岩見沢東RC)が選任され、他の役員は再任となりました。このほか、「世界米山学友の集い」提唱者の一人である何玉翠さんと、関東での開催実行委員長に就任した朴貞子さんから、次回の集いの説明と参加の呼びかけがありました。その後も交流は長時

間続き、日本のロータリアンとマレーシアの学友が新たに繋がる場面もありました。Zoomであっても、繋がり続けることの大切さを実感するすばらしい総会でした。

5 第4代よねやま親善大使の自己紹介動画

昨年7月から活動を開始した第4代よねやま親善大使。本来であれば、全国の各地区を訪問し、米山関連の研修セミナーなどでスピーチをし、ロータリアンの皆さんや各地区の奨学生・学



友と交流し、米山記念奨学事業の理解を深めてもらうことを主な活動としています。今回、親善大使が各自で自己紹介の動画を作ってくれました(1人約10分)。3人の魅力はこの短い動画には収まりきませんが、ぜひ多くの方にご覧いただき、親善大使の招へいをご検討ください。招へいのご依頼・ご相談は下記まで。現在、Zoomでの参加要請もお受けしています。

- ・親善大使の動画ページ:
(右QRコードを読み取ってください)
- ・親善大使の招へい:広報担当
seminar@rotary-yoneyama.or.jp





米山奨学生の紹介

日越友好関係構築への貢献

ハ ティトゥ ヒエン(ベトナム) 北海道文教大学・恵庭RC

私はベトナム出身のHA THI THU HIENと申します。私は2015年9月、留学のため来日しました。

私が、なぜ留学先に日本を選んだかというと、20年ぐらい前にベトナムで流行った日本のドラマ「スチュワーデス物語」がきっかけとなり、日本が好きになったからです。

このドラマの主人公の松本ちあきという女性がよく言っている言葉「がんばれ、がんばれ、ちあき」というフレーズを、ベトナム語で言うと「Cố lén Chiaki、Cố lén Chiaki」になります。このフレーズのおかげで、私は人生で遭遇した困難を乗り越える事が出来ましたし、日本人の性格と日本の文化が好きになりました。

私がベトナムの大学を卒業する1年前、父は癌で亡くなりました。家族の経済的負担は母の肩にかかります。その時の私の家族の生活は非常に困窮していたため、日本で留学することは贅沢な夢です。その時、千秋の「がんばれ、がんばれ、ちあき」というフレーズが私の心に響き渡って、日本語学習を諦める事なく、学校で日本語を勉強した後、日本レストランでバイトをしました。これは、多くの日本人と交流し、日本料理を通して日本文化についてもっと学ぶことができる方法です。

神様は人間を裏切らないです。その結果、2015年に旭川福祉専門学校日本語学科から返済不要奨学金をもらって、日本にきました。旭川福祉専門学校卒業後、2017年4月北海道文教大学国際言語学科へ進学し、2021年3月に卒業見込みで現在に至っています。

大学3年生時に成績優秀につき語学研修生に選抜され春休み1ヶ月NZに短期留学し、4年生

時には返済不要のロータリー米山奨学金を頂いています。現在GPAは3.13です。日本語能力試験N2(聴解60/60点)、観光英語検定試験3級、HSK4 中国語試験170点を取得しました。

私は大学時代課外活動として恵庭市の文化交流や道内学校訪問などに参加し、日本とベトナムの架け橋となる体験をさせて頂くうちに、いつの間にかに北海道が好きになりました。北海道の冬は寒いですが、北海道の皆様の温かいご支援を受けて成長できたと思います。北海道の皆様の恩を絶対忘れません。恩返しが出来るように、卒業後北海道で就職を決意しました。

幸いにも、滝川市の業協同組合での採用が決まり、雇用条件にも満足しております。入社後日本企業とベトナム労働者の架け橋となれる様、ベトナム人に北海道とアイヌ文化を紹介することができるよう、頑張ります。



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

江別西RC	石黒 良平	会員	(13回)	3月24日	岩見沢RC	嵯峨 義輝	会員	(7回)	3月25日
岩見沢RC	菅野 聖人	会員	(1回)	3月25日	札幌清田RC	三浦 信一	会員	(1回)	3月24日

米山功労クラブ

江別西RC (3回) 3月24日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

赤平RC	横岡 潤一	会員	(2回)	3月12日
札幌東RC	出倉 恵隆	会員	(2回)	3月30日
札幌幌南RC	北川 好和	会員	(2回)	3月31日
岩内RC	東山 洋徹	会員	(1回)	3月19日
小樽RC	秦 健一郎	会員	(2回)	3月26日
小樽RC	三山 雄弘	会員	(2回)	3月26日
蘭越RC	新見 健	会員	(2回)	3月26日
蘭越RC	白石 勇	会員	(2回)	3月26日
蘭越RC	佐藤 義久	会員	(3回)	3月26日
蘭越RC	志比川 武	会員	(6回)	3月26日
江差RC	前川 敏雄	会員	(1回)	3月11日

ポール・ハリス・フェロー

赤平RC	片根 信郎	会員	3月12日
赤平RC	松尾 和俊	会員	3月12日
札幌西北RC	松下 徳良	会員	3月26日
小樽RC	上参郷光祐	会員	3月26日
蘭越RC	馬場 充	会員	3月26日
蘭越RC	小澤 修	会員	3月26日
森RC	松浦 仁	会員	3月 9日
森RC	嶋崎 修一	会員	3月 9日
苦小牧RC	大岩 均	会員	3月30日



コーディネーター NEWS

2021年5月号 No.1

発行:Region 1 & 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター

『さあ、手を取り合って行動しよう!』

『世界を変える行動人』である私たちのミッションは、ビジョン声明にあるように、持続可能なよい変化を生むために行動することです。ビジョン声明の英文はTogether, we see a world where people unite and take action to create lasting change- across the globe, in our communities, and in ourselves.です。文頭に注目してみると、Together(一緒に)という単語で始まっています。日本語訳の中でTogetherは「わたしたち」「人々が手を取り合って」という文言で表現されているのかと思います。

では、「わたしたち」とはだれを指すのでしょうか。まずロータリアンです。それだけでしょうか?そこにはローターアクターを始め、ロータリーの奨学生や学友といったロータリーファミリーのみなさんの存在があります。地域社会の方々もいます。そして、ロータリアンの家族の方々もいます。「わたしたち」の幅が広がれば広がるほど、手を取り合って、共に行動する仲間が増えます。

以前、雑誌The Rotarian(現在の雑誌Rotary)で、食料が不足して困っているアメリカの田舎町で行われた奉仕活動の記事を読んだことがあります。週末になると、ロータリアンと地域の子供たちはバスで農園に出かけます。農家の人たちの協力を得て、種の撒き方や苗の育て方を習い、子供たちは農作業に取り組みます。週末に定期的に農園に通って、作業をし、農作物の成長の過程を見て学びます。収穫の時が来ると感謝して刈り取り、必要としている人々に届けます。最初は小さなプロジェクトでしたが、運搬の車を出す人、肥料を提供する人、土地を提供する人などが加わっていき、ついには市を上げての大プロジェクトとなり、この町では食糧難に苦しむ人がいなくなったという話でした。

私たちが現在行っている奉仕活動の中に、あるいはこれから取り組もうとしている奉仕活動に、地域の人々やロータリーファミリーを巻き込んで一緒に活動できるものがないでしょうか。ロータリーの活動に参加して、手を取り合って一緒に行動してみることが、ロータリーを知り、理解していくだけ何よりの機会になるように思います。おそらくこれがロータリーの公共イメージ向上への一番の近道と言えるかもしれません。その結果として、ロータリアンの仲間が増えていき、奉仕の扉は私たちの前にさらに大きく開かれるでしょう。

第2地域 ロータリーコーディネーター 服部 陽子(東京広尾RC)

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター **NEWS**

2021年5月号 No.2

発行:Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

会員増強 MISSION POSSIBLE

コロナ禍に乗じて、「THE ROTARY MOTIVATION」(A4判160頁)という標題のテキストを作りました(「ロータリーの友」4月号42頁参照)。会員増強や組織課題についても若干の模索を試みていますので、それを基に以下の通りまとめさせていただきました。

●ネットネイティブ世代がやってくる

私たちの子どもや孫のような世代がロータリーを担っていく時代になる日もそう遠くないと感じるようになってきました。義理人情を絡めた会員増強策が、ネットネイティブな若年齢層や女性層に対して通用していくでしょうか。今のロータリアンはブーマー世代が中心ではないかと思いますが、それに続くミレニアル世代(Y世代)やZ世代の思考や感性の違いを理解しないと、彼らを入会や在籍に結びつけられるのか疑問です。世代の空白をつくるないように、年齢バランスのとれたクラブ会員構成を保ち続けていくことが重要になると思います。若年齢会員の増強は世代交代につながります。

●日本の女性会員比率は世界最下位レベル

「THE ROTARY MOTIVATION」の特別編集として、新規に作成した「ロータリーと女性」という標題のテキスト(パワーポイント版10頁)を別添付します。女性会員増強に向けたセミナーや例会などで、どなたでも自由に使うことができます。

一部を紹介しますと、S-05頁は、ロータリー存在国別の女性ロータリー会員比率を整理したデータです。日本のロータリー会員総数は世界で上位3番目であるのに対して、女性ロータリー会員比率は世界で下位3番目となっています。最下位の二国は国土も人口も僅かなので、日本は実質的に最下位と言っても良いような状態だということがわかります。日本の女性ロータリー会員比率が約7%だという認識はあっても、世界の中でのポジションについては、あまり認識されていないかもしれません。

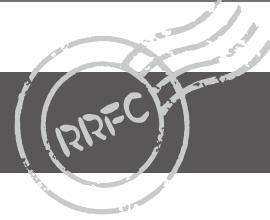


●MISSION POSSIBLE

会員増強は、クラブあるいは会員個人が、自身の問題として意識を定着化していくことが始まりだと思います。地域社会に向けた奉仕活動をしようという際でもポリオを根絶しようという際でも、問題意識がなかったら戦略も行動も何も起こらないでしょう。目前の会員維持対応も危機感に満ちた課題ですが、会員増強の手法自体を戦略的に位置づけていくことが不可欠だと思います。特に若年齢層や女性の増強を考えた時には、上述したようなデータを読み解いて、自分たちに可能な作戦(MISSION POSSIBLE)を計画していくこと、そこから先は熱いハートに切り替えて取り組むことが必要になると思います。そして常に、プロセスや結果を検証していくという蓄積も忘れてはならないと思います。

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 関 邦則(長野RC)

第1地域 RRFC便り 4月号



クナークRI会長・ラビンドラン TRF管理委員長からのメッセージ

<https://vimeo.com/525109467/79bbdd9e66>



クラブ会長の皆さまへ

平素より大変お世話になっております。

困難な時を迎えておりますが、コロナウイルス流行に地域社会で懸命に対応しているロータリー会員の活動について報告を受けるたびに、勇気づけられる思いがしております。現在、繰り返し耳にする質問があります。それは「私たちはコロナウイルスの予防接種にかかるのか」という質問です。その答えは、「イエス」です。これは、私たちがポリオ根絶という目標から逸脱することを意味するものではありません。ポリオ根絶は、引き続きロータリーの最優先活動であり、唯一の組織的プログラムです。ポリオの予防接種活動を、今後も弱めることなく続けていかなくてはなりません。また、ポリオ根絶のために年に5000万ドルを集め努力も継続しなければなりません。

現在、新型コロナワクチンが世界中で利用可能となりつつあり、ロータリー会員は重要な役割を果たすことができます。このため、クラブに以下のことを奨励していただけますよう、皆さまにお願いいたします：

- ◎ポリオ根絶活動での体験を基に、ワクチンの安全性と有効性に関するロータリーの知識を生かして、地域社会での予防接種を支援する。
- ◎皆さまの国でワクチン接種が開始される際には、地方自治体等と協力し、必要に応じてクラブが支援できることを伝える。
- ◎最近高まっているワクチンへの抵抗や誤解を解く活動を支援する。地域社会で啓発を行うことが極めて重要です。命を救うワクチンの力について、メッセージを広げる必要があります。

◎予防接種の有無にかかわらず、マスク着用、人の距離、適切な衛生習慣を推進する活動や、防護具を寄贈する活動に引き続き参加し、新型コロナウイルスの拡大を阻止する。

上のビデオメッセージをご覧いただき、クラブ会員やお知り合いと共有していただければ幸いです。地元での予防接種または新型コロナウイルス予防にかかる klub の取り組みを紹介いただける場合は、ロータリーショーケース (My ROTARYへのログインが必要) に掲載してください。

新型コロナ流行の終息をめざすクラブの活動についてお聞かせいただけるのを楽しみにしております。何とぞよろしくお願ひいたします。

<https://vimeo.com/525109467/79bbdd9e66>

国際ロータリー会長 ロータリー財団管理委員長
ホルガー・クナーク K.R. ラビンドラン



よくある質問に 補助金担当スタッフがお答えします



グローバル補助金
申請書の承認の
チャンスを高めるために

ロータリー財団は、ロータリーの重点分野のいずれかに該当する大規模で持続可能な活動を支えるために、2013-14年度にグローバル補助金を導入しました。以来、この補助金は大きく成長し、補助金の授与数は50パーセント以上増加しています。2019-20年には1,350件のグローバル補助金が授与され、その総額は1億ドルを超えていました。

ロータリー勤続歴25年の財団補助金担当ディレクター、アビー・マクニア（エバンストン・ロータリークラブに所属）が、グローバル補助金申請書の承認のチャンスを高めるためのヒントをご紹介します。

※この記事は、『Rotary』誌2020年11月号に掲載された記事を翻訳・編集し、日本の読者向けに【日本向けのアドバイス】を追加したものです。

1.理想的なグローバル補助金申請書とはどのようなものでしょうか？

受益社会（プロジェクト実施地）の人たちが地域社会の調査に十分に参加したことがわかる申請書であることが重要です。受益社会の人たちとの対話を通じて、地域の住民が何を望んでいるのかをより深く理解できます。そうすることで、住民のスキル、創造力、知識を生かし、プロジェクトのインパクトを最大限にできます。理想は、受益社会の人たちと協力してロータリアンがプロジェクトを立案することです。地域社会に既に存在する強みを生かすことで、プロジェクトの成果がさらに大きくなります。

【日本向けのアドバイス】

ロータリアンが、特に援助国側の目線で最善と思われる方法や高い目標を押し付けてしまっていかないかどうか、細心の注意を払いましょう。支援を受ける人たちがもつ技術や知識を生かせる方法を、一緒に模索すべきです。受益社会の人たちが十分な計画を立てられないと思った場合にも、彼らの知識や技術を高め、ともに考え、十分に理解を得てから計画を修正するようにします。

受益社会の人たちの手の届かないところにプロジェクトを取り上げて、上から修正してしまえば、その人たちにとって「自分たちのプロジェクトである」という意識が薄くなり、協力意欲をそいでしまうことになります。援助国側の都合で焦ってプロジェクトを実行するのではなく、時間がかかるても、実施地の人たちのペースに歩みを合わせるべきです。

2.補助金申請書によく見られる間違いは何ですか？

正しい目標に焦点を当てていないことです。プロジェクトがロータリー財団のいずれかの重点分野の目標に一致していることを確認してください。これらの目標は、「重点分野の基本方針」に記載されており、

いずれも大きな目標です。一方、申請者は、例えば「コミュニティセンターに調度品を備えつける」など、小さな目標を考えていることが少なくありません。そのようなプロジェクトには、地区補助金が適しています。グローバル補助金申請書が承認される可能性を高めるには、財団の目標のいずれかにプロジェクトが一致していることを確認した上で、その達成方法を入念に考える必要があります。

【日本向けのアドバイス】

グローバル補助金では、「取り組むプロジェクトの成果を持続していくための知識、技術、考え方、意欲／モチベーション」を提供し、受益社会の人たちの「心に変化をもたらす」ことを重視しましょう。「もの」の寄贈はその手段の一つとなります、寄贈だけでは持続的な変化をもたらすことは困難です。

3.補助金が使えない費用には、どのようなものがありますか？

地域社会でよい活動をしている他団体を支援したいと考えるクラブが多くあります。しかし、他団体が必要なものだけを申請書に挙げたのでは、承認が難しくなります。例えば、学校がかかわるグローバル補助金プロジェクトの場合、器具の提供を含むことはできますが、プロジェクトの焦点は教員の能力やスキルの向上であるべきです。器具の提供が主要な要素である学校プロジェクトは、グローバル補助金の受領資格がありません。プロジェクトの長期的な持続可能性を確実にする方法のひとつは、受益社会の人たちにかかわってもらうことです。

【日本向けのアドバイス】

プロジェクトの立案に参加してもらう「受益社会の人たち」とは、支援先の組織の代表者や協力団体のスタッフではなく、最終的な受益者または受益者と直接接する人たちを意味します。例えば、支援先が学校や病院である場合、生徒や患者の意見を聞くことは難しいかもしれません、教師や保護者、医師や看護師などにプロジェクト立案に参加してもらうことができます。

4.ロータリアンから最もよく受ける質問はどのようなものですか？

「プロジェクトのパートナーをどう見つければよいか」という質問です。そのような質問があった場合、協同提唱者を募っているグローバル補助金プロジェクトを

「ロータリーショーケース」で探すことをお勧めしています。実施地、地区、クラブで検索もできます。また、協力できるプロジェクトを見つけるために「プロジェクトフェア」に参加するのもよいでしょう。今年は、プロジェクトフェアの多くがバーチャルで実施されました。さらに、協力できるプロジェクトやクラブがあるかどうかを、ロータリー行動グループに連絡して尋ねてみることもできます。

【日本向けのアドバイス】

言葉の問題が壁になっている場合は、海外経験の豊富な会員や学友などに協力してもらうとよいでしょう。財団や米山学友、ロータリー平和フェローやグローバル補助金奨学生がプロジェクトの橋渡しをするケースも増えてきました。姉妹クラブや親睦グループあるいは海外取引先など、会員の持つネットワークがないかどうか情報を交換しましょう。ショーケースでプロジェクトを探す場合は、事前にクラブ全体で、取り組むプロジェクトの規模や活動内容について合意しておくことも重要です。実施地だけでなく、活動の種類や分野、資金規模、労力、期間を想定して、自分たちに合った計画の枠組をイメージして絞り込みます。会員の専門性を生かせそうな重点分野でプロジェクトを探すのもいいかもしれません。また、立案から実施、完了までに何年もかかる場合があることを考慮して、役割分担を決めておくことも必要です。

5.申請において援助が必要な場合、誰に相談できますか？

まずは、ご自分の地区に連絡してみましょう。通常、地区的委員会が設けられており、あなたの関心分野に詳しいロータリアンを紹介してくれます。また、ロータリー財団に直接連絡することもできます。自地区を担当する補助金担当職員（リストと連絡先はこちら）は、プロジェクトのアイデアを確認した上で、該当する重点分野に詳しいロータリー財団専門家グループのメンバーをご紹介したり、プロジェクトの立案のお手伝いや、受領資格についてのアドバイスなどをすることができます。日本の地区を担当する補助金担当職員には、日本語で連絡できます。また、各重点分野の担当職員も、それぞれの分野で最大限の成果を上げるためのアドバイスを提供できます。

【日本向けのアドバイス】

クラブや地区的会員の「リソースを収集」をする、

つまり、会員がどのような知識、経験、つながりを持っているかを調べるのもよいでしょう。それによって、プロジェクトに必要な知識や経験、あるいは海外とのネットワークを持つ会員、語学力やインターネットの知識があるローター・アクターや学友が見つかり、彼らの参加や協力が得られるかもしれません。グローバル補助金ガイドと地域調査の方法もダウンロードしてご利用ください。
(ロータリーボイスから転載しています)

財団資金モデルの変更

第1地域内の共通認識と変更部分の共有に関する要点について、3月9日に地域リーダーがZOOMでのミーティングを行いました。その時に資料として使用したものを第1地域の地区リーダーの皆様にご案内いたします。

・第1の変更点

ボリオプラスへの地区財団活動資金（DDF）の寄贈に対しては、国際財団活動資金（WF）から、100%ではなく、50%が上乗せされる。その後でビル＆メリンド・ゲイツ財団からの上乗せが行われる。ロータリーがボリオ根絶のために集める資金に対し、今後もゲイツ財団から2倍額が上乗せされます（上乗せの対象となるロータリーからの金額は毎年5000万ドルまで）。

・第2の変更点

グローバル補助金のためのDDFに対するWFからの上乗せが、100%から80%に引き下げられる。2020-21年度には、WFが枯渇しない限り、5月31日までに提出され、6月30日までに承認された申請書に対し、引き続きDDFに100%が上乗せされます。今年度に承認されなかった申請書は、調達資金に調整を加えた上で再提出する必要があります。

・第3の変更点

年次基金（シェア）寄付の5%が、運営費としてWFとDDFから均等に差し引かれる。現在、年次基金（シェア）への100ドルの寄付は、50ドルがDDF、45ドルがWF、5ドルが運営費となります。2021年7月1日より、100ドルの寄付は、47.50ドルずつがDDFとWF、5ドルが運営費となります。複数の慈善団体格付け機関による評価が示すように、財団は寄付の資金管理

という点で非常に優れており、最高の格付け評価を誇り、かつ最も影響力のある非営利組織の一つとなっています。チャリティーナビゲーターからは、13年間連続で四つ星(最高評価)を受けています。

・第4の変更点

未使用DDFを繰越しできるのは5年間のみとなる。地区は、財団のプログラムを通じてインパクトをもたらすために、DDFを全額活用することが奨励されています。しかし、2020年7月1日には、4880万ドルものDDFが未使用のまま現年度に繰り越されました。2026年7月1日より、各年度末に5年を超えて未使用であるDDFは、地区の裁量で、ポリオプラス、重点分野のための恒久基金、ロータリー平和センター、恒久基金、災害救援基金、WFのいずれかに充てられます。
<https://my.rotary.org/ja/rotary-foundation-approves-changes-funding-model-set-take-effect-1-july-2021>
(地区内のロータリー財団委員長には、この4点の変更点について共通認識を戴き、確認できますようご留意を願います。)

第1地域地区財団委員長との懇談会へのご案内

来る4月12日(月)午後6時から7時30分頃までZOOMによる第1地域地区財団委員長様との懇談会を開催いたします。既にお返事を頂戴しております地区に関しましては、心から感謝を申し上げます。また未回答の地区におかれましては、下記の要領での開催になります。コロナ禍で対面する会合の出来なかった部分を共有戴き地区内での問題点や課題など身近なロータリー財団に関する諸問題を話し合う場所としてお話を聞かせて貰えましたら幸甚に存じます。

羽部大仁さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。

トピック: Zoom meeting invitation - 第1地域財団チームのZoomミーティング

時間: 2021年4月12日 06:00 PM 大阪、札幌、東京
Zoomミーティングに参加する

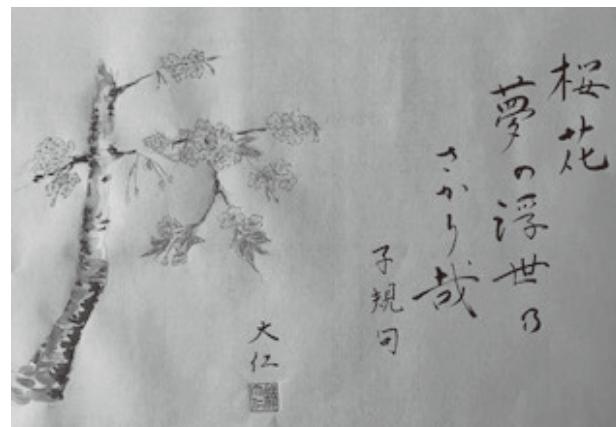
<https://us02web.zoom.us/j/85495643549?pwd=a0Vmej1MV2JwRG1kRUV2N3Nkc21UQT09>

ミーティングID: 854 9564 3549

パスコード: iGiX3D

子規の句にさくらの花

『桜花 夢の浮世の さかり哉 明治25年』



子規の句に桜を添えて

今回は子規の句『桜花 夢の浮き世の さかり哉』を紹介します。毎回桜の花を僕約して描いていると、ある友人が桜は沢山の花びらを見上げるような感じだと、しかし描いてみると矢張り見窄らしい桜になつたかも知れません。今回は浅草の本願寺に立派な桜の木があり、素晴らしい花を咲かせています。毎朝晨朝の時に回廊を歩くと本堂正面に回る角から素晴らしい桜花が迎えてくれます。写真にも写して、参考にしましたが一部分だけしか描けませんでした。この句は、人生は夢のまた夢だと教えられているではないか。それを知らずに唯、夢生陶醉の今を盛りに生きている。子規は皆様もご存知のように多くの句を残して逝きました。中には『観音の大悲の桜 咲にけり』皆様もご承知のように、観音菩薩と勢至菩薩は阿弥陀様の脇侍で、阿弥陀様の衆生済度のお手伝いをなさる働きがあると申します。自己流で申しますと『阿弥陀仏 大悲の桜 咲にけり』と頷いています。子規に叱られるかも知れません。私は昨年11月から浅草に10日以上居りますので、朝勤のあと散歩に出掛けます。雷門を横切って隅田川に出て、河川敷を歩いて言問橋から浅草の街中を、浅草寺の二天門から本殿にお参りして本願寺に戻ります。今は何処も桜が満開で楽しい散歩に時間が掛かっています。子規の句に『しんとして 露をこぼすや 朝桜』があります。

朝早くには、このような風情が子規の眼に映ったに違ひありません。来週にでも早朝に出掛けみたいと考えています。コロナ禍で財団も大変ですが、ご支援を宜しくお願ひいたします。(羽部記)



ロータリーは
機会の扉を開く

2020-2021 国際ロータリー 第2510地区

同時オンライン配信

地区大会

ホストクラブ／札幌手稲ロータリークラブ > コ・ホストクラブ／札幌幌南ロータリークラブ

大会テーマ

「守・破・離」の心で
これからの100年の扉を開きましょう！

2021年5月16日(日)

札幌パークホテル

札幌市中央区南10条西3丁目1の1
TEL:011-511-3131(代表)

- 10:00 会長・幹事会
- 13:00 本会議
- 15:00 記念講演
- 17:30 記念懇親会

5月17日(月)

親睦ゴルフ大会

会場／小樽カントリークラブ
(登録料／5,000円)
スタート／7:00

GROUP6
岩内・俱知安・小樽
小樽南・小樽錢函
蘭越・余市

GROUP9
伊達・室蘭
室蘭東・室蘭北
登別・洞爺湖

GROUP12
白老・苫小牧
苫小牧東
苫小牧北

GROUP7
千歳
千歳セントラル
恵庭・北広島
長沼・由仁

GROUP8
えりも・三石
様似・静内
浦河

GROUP11
江差・函館五棱郭
函館東・函館北
北斗

GROUP10
函館・函館亀田
森・七飯・長万部
函館セントラル

登録料

- オンライン参加会員／ 3,500円
- 会 場 参 加 会 員／17,000円
- 会場ご家族参加者／10,000円



2020-2021年度
国際ロータリー 第2510地区

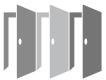
地区大会事務局

TEL／011-837-0033 FAX／011-837-0001
E-MAIL／rid2510fk@gmail.com

ご案内図



Rotary INTERNATIONAL

2020-2021 国際ロータリー 第2510地区
地区大会

同時オンライン配信



国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク



ガバナー
福井 敬悟



地区大会実行委員長
池田 和陽



来る5月16日(日)ホストクラブを札幌手稲RC、コ・ホストクラブを札幌幌南RCとしてRI第2510地区の地区大会を開催いたします。2020-2021年度国際ロータリー、ホルガー・クナーク会長のテーマ『ロータリーは機会の扉を開く』そして福井ガバナーのスローガン『守・破・離の心で初心を忘れず!変化を恐れず!希望の扉を開きましょう』更には『2020年日本のロータリー100周年を祝おう!~これから100年に向けて~』を基にスタッフ一丸となって準備を進めております。記念講演には能楽師の観世喜正氏をお迎えし、映像を交えてご講演をいただきます。

今大会最大の特徴は、コロナ禍の影響のためオンライン配信で全会員が視聴参加できる画期的な地区大会となることで、3月からは地区大会の予告編をWeb配信いたします。なお本会場へのリアル参加者はソーシャルディスタンス確保のため、限定させていただきます。このように初の試みとなる地区大会ではありますが、参加クラブが主役と考え、互いの理解を深め、友情の輪を広め実り多い大会にいたします。

最後にロータリアンの皆様におかれましては長期にわたりコロナ禍と闘い、さまざまな困難に立ち向かっているものとお察し申し上げます。ロータリーの100年は苦難を乗り越えた一世紀とも言えます。どうか今大会当日、ロータリアン全員が会場やオンラインを通じてお会いできることを心からご祈念申し上げます。



かんぜ よしまさ
観世 喜正

5月16日(日) 15:00~

記念講演

「温故知新・伝統文化から未来が見える」

能楽師、観世流シテ方。

昭和45年(1970年)、三世・鶴世喜之の長男として東京に生まれる。

2歳半にて初舞台。慶應義塾大学法学部卒。

重要無形文化財総合指定保持者。

公益社団法人・観世九皐会理事。公益社団法人・能楽協会理事。

著書「演目別に見る能装束」「演目別に見る能装束Ⅱ」(淡交社)、DVD「スピカろうそく能」

『鉄輪』『紅葉狩』『大般若』『道成寺』ほか主演・作成・監修。またNHKの「日本の伝統芸能」

や大河ドラマへの出演・監修も多数。

札幌観世九皐会にて長年能楽を指導している。

また、札幌市教育文化会館と道新文化センターにおいても、月に2回、謡いや仕舞の指導を行って古典芸能・能楽の普及に努めている。

今回おなじみの能演目『敦盛』などの映像を交えて記念講演を開催予定。「能楽」の奥深さや魅力に触れるこことできる絶好の機会です。乞うご期待!!



あつ もり
能「敦盛」

●会場参加登録に関するお知らせ

会場内の入場者数制限と出席者のソーシャルディスタンス確保のため、会場参加者を下記の様に制限させていただきます(コロナ禍の状況を鑑み、会場参加を強制するものではありません)。

■主な会場参加者

ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー、ご来賓、パストガバナー、ガバナー補佐、地区役員、今年度および次年度クラブ会長・幹事、個人褒賞授与者、ホストクラブ会員(札幌手稲RC、札幌幌南RC)、その他運営スタッフ

予告編
カウントダウン
3月スタート!!
本会議生配信



地区大会に関する全ての情報はこちらから

地区大会のお知らせ

いよいよ5月の地区大会まで45日(4月1日現在)となりました。

着々と準備を進めておりますが、**オンラインの参加手法**についてご説明させていただきます。

◎各クラブの事務局様へ

オンラインを閲覧するためのQRコードとURLをメールにて配布いたします。

1. 事務局様は、“地区大会のオンライン登録された方”へ、メールの転送をお願いいたします。

2. オンライン登録された方は

■携帯やタブレットの場合／カメラなどでQRコードを読み込む。

■パソコンの場合／メールのURLをクリックです。

3. その後は、見たい項目を選択です。

予告編なども掲載しますので、ぜひ大会前にもご覧ください!



《記念講演》

講師にお招きいたしましたのは、能楽師・観世流シテ方、観世喜正氏です。

「温故知新・伝統文化から未来が見える」と題しましてご講演をいただきます。

尚、観世喜正氏のプロフィールは地区大会リーフレットをご参照ください。

能は室町時代の三代将軍足利義満の頃に、後に天才と評される観阿弥、世阿弥親子が以前からあった猿楽などの芸事を高度な美を付け加え新しい演劇「能」と言うものに昇華させて完成したものです。ちなみに歌手の故三波春夫の有名な「お客様は神様です」とか「初心忘れべからず」(能の理論書、風姿花伝に記載)などのフレーズは世阿弥が始まりです。西洋のバレエは200年ほど前、オペラは400年ほど前に生まれています。これらに比べても能は遙か600年の歴史があります。楽器演奏は小鼓と大鼓、笛と太鼓の4人だけそれに、謡と言う力強い気魄の声楽であります。また、能の舞台装置は独特で「橋掛かり」と言う演者が出入りする廊下があり、その前に松の木が3本立っています。奥の松が小さく舞台側を大きくして、遠近感を出しています。レオナルド・ダビンチの壁画「最後の晩餐」は遠近法で有名ですが、それより100年以上前に能舞台には、遠近法を取り入れています。この様な事からも、日本が世界に誇れる、世界最古の舞台芸能と言えるのであります。能の特徴の一つに「能面」があることです。面の瞳が役者の目より上につけられることから能面はかぶるのではなく「かける」と言うそうです。

能の演目には当時の古典文学の「源氏物語」や「平家物語」などを題材にしたものが多く、ゆえに、能は誕生してから主に武家の「たしなみ」として、大名などに親しまれたのかも知れません。現代風に言い換えれば、前者は川端康成の「雪国」を映画化したようなもので、後者は社長がゴルフを「たしなむ」ようなものです。能と狂言はセットで上演されます。これも今風に言えば、能はミュージカルで狂言はコントと言えば、分かりやすいかも知れません。

職業人の我々ロータリアンはいかに自身の職業や企業を永続させることが、一つの課題とも言えます。600年と言う歴史を生き抜いた「能」だからこそ、未来を感じ出来る、正に温故知新ではないでしょうか。



ナント言っても能と言えば、戦国大名の織田信長が好んで舞っていた「敦盛」を先ず思い浮かべます。

今回はこの敦盛を講演の中でお話いただけます様、観世喜正氏にリクエストいたしました。

そこで、敦盛の予備知識をWeb配信の地区大会予告編で4月上旬から上映します。事前にご視聴頂ければ講演当日、更に興味深く拝聴出来るものと思います。是非、ご覧下さい。

地区カレンダー

5月 > 6月

5月 青少年奉仕月間

1 土	
2 日	
3 月	憲法記念日
4 火	みどりの日
5 水	こどもの日
6 木	
7 金	
8 土	
9 日	
10 月	
11 火	
12 水	
13 木	
14 金	
15 土	地区研修・協議会(札幌)
16 日	地区大会(札幌)
17 月	親睦ゴルフ大会(小樽)
18 火	
19 水	
20 木	
21 金	
22 土	札幌北RC創立50周年記念式典
23 日	第1グループIM(深川):中止・RLIセミナーパートⅢ
24 月	
25 火	日本ロータリー100周年記念式典・祝賀会(東京)
26 水	
27 木	
28 金	
29 土	全国合唱祭(札幌):中止
30 日	
31 月	

6月 ロータリー親睦活動月間

1 火	
2 水	
3 木	
4 金	
5 土	余市RC周年記念式典:中止
6 日	留萌RC創立60周年記念式典
7 月	
8 火	
9 水	
10 木	
11 金	
12 土	国際大会～16日(台湾・台北):オンライン開催
13 日	
14 月	
15 火	
16 水	
17 木	
18 金	
19 土	
20 日	現新地区委員長・ガバナー補佐合同引継ぎ会議(札幌)
21 月	
22 火	
23 水	
24 木	
25 金	
26 土	
27 日	静内RC創立50周年記念式典
28 月	
29 火	千歳セントラルRC創立30周年記念例会
30 水	2020-21年度終了

2021年5月のロータリーレートは地区HPをご覧下さい。

会員数・例会回数報告

グループ	クラブ名	例会数	会員数			
			2020.7.1	2021.2.28	増減	内女性
1	深川	2	33	33	0	2
	羽幌	3	42	38	-4	2
	妹背牛	2	7	7	0	0
	留萌	3	27	26	-1	4
	小計		109	104	-5	8
2	赤平	2	20	20	0	2
	芦別	1	29	27	-2	2
	砂川	4	39	38	-1	1
	滝川	3	81	84	3	5
	小計		169	169	1	10
3	美唄	3	24	24	0	0
	江別	2	35	37	2	1
	江別西	2	36	36	0	4
	岩見沢	4	90	91	1	1
	岩見沢東	4	15	17	2	2
4	栗沢	3	18	18	0	1
	栗山	4	26	24	-2	5
	当別	3	28	28	0	0
	小計		272	275	3	14
	札幌	4	125	126	1	1
5	札幌はまなす	4	16	17	1	2
	札幌北	4	43	39	-4	4
	札幌モーニング	3	35	36	1	0
	札幌西	4	51	50	-1	10
	札幌西北	2	34	35	1	3
6	札幌手稻	3	36	38	2	4
	小計		340	341	1	24
	札幌東	3	112	115	3	0
	札幌清田	3	11	11	0	3
	札幌幌南	4	51	52	1	0
7	札幌真駒内	3	20	20	0	6
	札幌南	5	86	81	-5	2
	札幌大通公園	2	12	12	0	3
	札幌ライラック	2	16	15	-1	4
	新札幌	4	25	27	2	5
8	小計		333	333	2	23
	岩内	3	23	23	0	1
	俱知安	0	33	33	0	3
	小樽	5	71	73	2	4
	小樽南	4	64	64	0	3
9	小樽銭函	3	19	16	-3	1
	蘭越	0	8	8	0	0
	余市	2	40	40	0	4
	小計		258	257	-1	16

3月会員増減数

クラブ数	70クラブ
期首会員数	2,493人
当月末会員数(女性)	2,492人(173人)
増加会員数	-1人

グループ	クラブ名	例会数	会員数			
			2020.7.1	2021.2.28	増減	内女性
7	千歳	3	74	74	0	10
	千歳セントラル	2	43	43	0	9
	恵庭	4	49	46	-3	3
	北広島	3	15	15	0	0
	長沼	3	17	17	0	3
8	由仁	2	8	8	0	1
	小計		206	203	-3	26
	えりも	1	19	19	0	1
	三石	2	11	11	0	0
	様似	1	14	15	1	1
9	静内	4	67	65	-2	4
	浦河	3	27	27	0	3
	小計		138	137	-1	9
	伊達	2	62	61	-1	2
	室蘭	4	30	32	2	2
10	室蘭東	4	32	32	0	2
	室蘭北	4	48	51	3	1
	登別	4	29	28	-1	1
	洞爺湖	2	12	12	0	1
	小計		213	216	3	9
11	函館	3	68	69	1	3
	函館亀田	4	36	35	-1	4
	森	2	33	32	-1	0
	七飯	4	14	15	1	0
	長万部	1	10	10	0	0
12	函館セントラル	4	23	22	-1	2
	小計		184	183	-1	9
	江差	2	10	9	-1	1
	函館五稜郭	4	53	51	-2	0
	函館東	0	35	37	2	8
13	函館北	1	18	17	-1	1
	北斗	4	12	12	0	0
	小計		128	126	-2	10
	白老	0	31	30	-1	3
	苦小牧	4	55	60	5	2
14	苦小牧東	3	28	30	2	6
	苦小牧北	2	29	28	-1	3
	小計		143	148	5	14
	合計		2,493	2,492	-1	172

※岩見沢RCには岩見沢ネクストローテー衛星クラブの会員数13名(内女性会員0名)を含む



文庫通信

385

2021年4月23日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会 委員長 青木 貞雄

拝啓 陽春の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、常々ロータリー文庫へのご協力を心から感謝いたしております。

今回は、下記5点をご紹介いたしますので「ガバナー月信」にご掲載くださるようお願いいたします。

敬具



ロータリー章典を読む

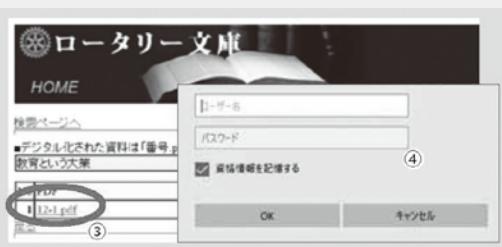
主要な公文書であるRI理事会議事録、手続要覧に引き続き、ロータリー章典を可能な限り電子化し、ホームページに公開しています。ロータリー章典日本語版の発行の経緯等は、ロータリーの友2007年4月版に掲載された下記の重田元RI理事の「日本語版『ロータリー章典』に詳しく紹介されています。その後、英語版以外の発行が中断したことがありましたが、2017年6月版以降、ロータリー財団章典と共に日本語版が「My ROTARY」に掲載されています。ただ、現在は手続要覧の白ページが「基本理念のみとなり「手続要覧の解説書の役割」を果たしていないようです。むしろ、理事会開催の度に方針の変更があり、書き換えられることがしばしばあるため、これまで以上に理事会議事録と照合することで、方針の変更を確認する必要があります。是非、上記の電子図書化された三つの公文書をご活用ください。

書名	著者／出版社	発行年	頁	※
日本語版「ロータリー章典」	重田政信 高崎北R.C.	友:2007・4月	2P	※
ROTARY CODE OF POLICIES (ロータリー章典 1999年8月 英語版)	- R.I.	1999	466P	※
ロータリー章典 2007年2月 日本語版	- R.I.	2007	546P	※
ロータリー章典 2009年6月 日本語版	- R.I.	2009	577P	※
ロータリー章典 2017年6月 日本語版	- R.I.	2017	478P	※

上記 ※印はデジタル化されている資料です。

ロータリー文庫ウェブサイト文献の閲覧は会員限定になります。

ロータリー文庫検索サイトで文献を閲覧するには、ログインパスワードが必要になります。利用方法は、①検索画面で文献を検索、②検索結果から閲覧したい文献の項目「※」をクリック。該当PDFのリストが表示されます。③「●●.pdf」リンクをクリック。ログイン画面が表示されます。④ユーザー名とパスワードを入力すると、PDFが閲覧できます。ユーザー名、パスワードは各ガバナー事務所を通じてクラブに送付いたします。



お問い合わせ

ロータリー文庫

ウェブサイト <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

表紙の解説

札幌市の歩みは、1869年に北海道開拓使が置かれ、開拓判官の島義勇が碁盤の目状の区画を構想したことになります。東西の基軸が創成川で、南北の軸はやがて大通公園となる後志通でした。1871年、中心部を北の官庁街と南の住宅・商業街とに分ける大規模な火防線がつくられ、これが大通公園のはじまりとなります。現在では初夏の訪れを告げるライラックまつり、YOSAKOIソーラン祭り、雪まつやホワイトイルミネーションなど、四季折々の美しい植物やイベントなどにより、1年を通して多くの観光客、市民に親しまれています。



ICT委員会からお知らせ My ROTARYの登録が、以前より簡単になりました!

お役に立ちますMyRotary



MENUから表示されるお役立ち項目の一例

- アイデアを広げる
ロータリアンとのフォーラム、国際大会などのイベント情報....
- 行動する
寄付受付、プロジェクトに関する情報やツール、補助金申請....
- ラーニング&参考資料
ロータリーの歴史や自己研修のラーニングセンターやウェビナー....
- 運営する
クラブ・地区の運営に関する情報、ブランドリソースセンター....
- ロータリー財団
財団への補助金申請に関する情報、寄付情報や寄付機能....
- ニュース&メディア
RI会長に関する情報、雑誌・ニュースレター・ビデオ....
- 会員コーナー
新会員の推薦、ロータリーショーケースや役立ツール、国際大会....

まだ、My Rotary のアカウントを持っていないという方は、この機会に是非、登録をお願いします。



国際ロータリー第2510地区のホームページに、My Rotaryの登録方法を詳しく掲載しています。アクセスしてご確認ください。



<http://rid2510.org/2021/>

ICT委員会 委員長 堀元 雅司



District 2510